

幕張メッセでの武器見本市開催に反対し幕張メッセの貸出を許可しないことを
千葉県に求める件に関する陳情

[願意]

幕張メッセで2019年6月に予定されている武器見本市(MAST Asia 2019)及び
2019年11月に予定されている武器見本市(DSEI JAPAN 2019)の開催に反対す
るとともに、幕張メッセを武器見本市に貸し出す許可をしないことを千葉県に
求めるべく、陳情いたします。

[理由]

2017年6月12日から14日にかけて、千葉市の幕張メッセにおいて、英国の
民間企業「MAST コミュニケーションズ」が開催する海上及び航空関係の国際
的な武器(兵器)見本市「MAST Asia 2017」が開催されました。「MAST Asia」は
隔年で開催され、毎回数十各国から軍関係者などが集まる国際的な武器見本市
です。安倍政権は2014年に武器や兵器の輸出を禁じた「武器輸出三原則」を撤
廃して武器を「防衛装備品」と言い換え、兵器産業への公的支援を成長戦略と
して位置づけました。以降、武器見本市へ日本企業の参加も目立つようになり
ました。MAST Asia 2017には米国や英国、イスラエル、韓国など33か国から
軍需産業や軍関係者が参加し、防衛省、経産省、外務省も後援しました。また、
世界最大の軍需企業ロッキード・マーティン社などの有力企業も参加し、日本
企業も14社が参加しました。日本側としては、防衛装備品を如何に外国に売り
込むかが最大の狙いといえます。

その後、2018年8月29日～30日には川崎のとどろきアリーナでイスラエル

軍事エキスポ(ISDEF JAPAN 2018)が開催され、2020年東京五輪の「テロ対策」を名目として、パレスチナの人を長年抑圧、監視、虐殺してきた技術を売り込みました。幕張メッセでの見本市には多くの人が抗議をし、とどろきアリーナでの開催では300人の人が抗議し反対の意思を表示しました。

幕張メッセでは2019年6月17日～19日に再び「MAST Asia 2019」の開催が予定されており、さらには2019年11月11日～20日には日本初の総合防衛展示会である「DSEI JAPAN 2019」も開催されようとしています。ロンドンで開催されているDSEIの主催であるClarion Eventsと日本のパートナーであるクライシスインテリジェンス社が共同で開催するものです。(参考サイト=<https://www.dsei-japan.com/jp>)

船橋市は1986年12月に「平和都市宣言」をしている市です。また千葉県も1994年10月に「非核平和千葉県宣言」を決議しています。

船橋市の近隣であり、総武線、京葉線、京成本線によって相互に極めて密接な関係にある千葉市に所在する幕張メッセで、再びこのような武器見本市が開催されることは、船橋市にとっても重大な関心を寄せざるを得ない問題です。武器見本市開催に反対し、その会場として千葉県所有の幕張メッセを貸し出すことの許可をしないことを千葉県に求めるべく、ここに陳情いたします。